


大分市地域まちづくりビジョン

# 南大分地域ビジョン会議 通信

第2号

発行：南大分地域ビジョン会議事務局

この通信は、地域ビジョン会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

## 地域ビジョン会議の目的

本市においても、今後、人口が減少に転じることが予測され、地域コミュニティの活性化や効率的な行政運営など諸課題への対策が求められています。

これら課題の解決には、行政が市民の意向や地域の実情を的確に把握し、市政への反映に努めることが重要です。

このような中、市内13地域において、地域の代表者等で構成する『ビジョン会議』を設置し、議論を深めてそれぞれの特性を踏まえた「地域まちづくりビジョン」としてご提言いただきます。

## 第2回南大分地域ビジョン会議



■平成29年7月27日（木）19：00～

■南大分公民館 研修室  
開会

### 一、議事

1. 第1回ビジョン会議の整理  
委員発言要旨のまとめ  
地域ビジョン会議通信の発行について
2. これからのまちづくりについて  
都市計画マスタープラン  
立地適正化計画
3. グループワーク

～まちづくりをすすめるための「コンセプト」を導く～

### 二、その他

閉会

## これからのまちづくりについて

事務局よりこれからのまちづくりについて各計画の説明を行いました。

### 1. 大分地区における都市計画について（都市計画マスタープランの概要）

JR大分駅南北を中心とした市街地は、大分都市計画区域の商業・業務の中心地であり、本市のみならず、県都、さらには東九州の重要な拠点にふさわしい規模、質を兼ね備えた商業・業務都心を形成することが期待される地区です。

その中でも、南大分スポーツパークや県立病院が立地している南大分地区については、健康文化拠点の形成を図ること、JR南大分駅などにおいて、駅前広場の整備、都市計画道路上野丘南大分線の整備、地区内の生活道路の整備をまちづくりの方針に掲げています。



### 2. 大分市立地適正化計画について

大分市では、昭和39年の新産業都市の指定後、急激な商工業の発展と人口増加にあわせて、市街地が拡大し、都市基盤施設の整備などを推進してきたことにより、拡散型の土地利用が進行してきました。そのため、今後、少子高齢化等の進展による人口減少及び人口密度の低下に伴い、税収の減少による財政規模の縮小、生活利便施設や公共交通の縮小、地域コミュニティ機能の低下等が予測され、人々の暮らしに様々な影響を及ぼすことが懸念されます。

高齢者や子育て世代にとっては、安心できる健康で快適な生活環境を実現すること、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を行うこと、公共交通等の効率化により低炭素型の都市構造を実現すること、災害から人命を守ることなどを推進していくため、都市の基本構造の在り方の見直しを行うなどの集約型都市構造へと転換する必要があります。

以上のことから、都市機能や居住の誘導に関する具体的な方策の検討を行い、都市再生特別措置法第81条に基づく「立地適正化計画」について、平成30年度末の公表を目指して作成を進めています。

# グループワークの流れ

## 【ステップ1】 重みづけ



## 【ステップ2】 ブレインストーミング



## 【ステップ3】 親和図作成



## まちづくりのコンセプト (理念)成果発表



### 【ステップ1】重みづけ(地域が重点的に取り組む施策の傾向を読み取る)

委員の皆様には、2班に分かれていただき、大分市総合計画の6つの「基本的な政策」に対し、ふだん気になることや問題に思っている重点項目に一人5枚のシールを貼っていきました。

#### 《1班:えがお班》 班長:川上委員より発表

班名は、「えがお班」です。シールが多く貼られた項目は、福祉の「子ども・子育て支援の充実」等と、「生きる力をはぐくむ学校教育の充実」です。第1回ビジョン会議でいわれました、小学校、中学校、幼稚園が多い地域といったところで皆様が考えたものと思われる。また交通体系の確立、交通網、渋滞とか、あとバスなどに問題意識があり「計画的な市街地の形成・交通体系の確立」の項目にポイントが集まりました。前回会議にも多くの意見が出ました「公園が少ない」、「子供がいっぱい遊べるところが少ない」とか、あと住宅の問題などの「安全で快適な住宅の整備・公園・緑地の保全と活用」にポイントが多かったです。この4つが大きな傾向になっています。

#### 【ポイントを多く入れた項目】

- 計画的な市街地の形成・交通体系の確立・・・(7)
- 子ども・子育て支援の充実・高齢者福祉の充実・障がい者(児)福祉の充実・・・(5)
- 生きる力をはぐくむ学校教育の充実・・・(5)
- 安全で快適な住宅の整備・公園・緑地の保全と活用・・・(4)

重点的に取り組むべき施策の傾向(重みづけ)	ポイント
1 暮らしやすい社会を実現するためのまちづくり(住居・生活環境の向上)	●●●●●
2 豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり(教育・文化の振興)	●●●●●
3 安全・安心を基盤に発展できるまちづくり(防災・安全の確保)	●●●●●
4 暮らしやすさを高めるまちづくり(生活環境の向上)	●●●●●
5 持続可能なまちづくり(まちづくりの推進)	●●●●●
6 自然と共生するまちづくり(自然の保全)	●●●●●



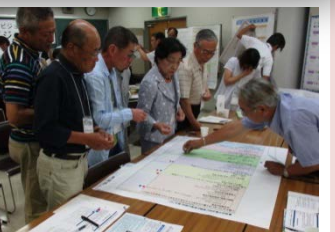
#### 《2班:黒田班》 班長:阿南委員より発表

班名は「黒田班」です。「えがお班」と比べてほとんど一緒なのですが、大きく違うところは、「防災安全の確保」の項目が非常に多いです。班として多いところは子育て関係の「教育・文化の振興」の項目です。それから、交通関係の「計画的な市街地の形成・交通体系の確立」も多くあります。

#### 【ポイントの多く入れた項目】

- 子ども・子育て支援の充実・高齢者福祉の充実・障がい者(児)福祉の充実・・・(5)
- 防災力の向上・・・(5)
- 子どもたちの学びを支える教育環境の充実・・・(4)
- 計画的な市街地の形成・交通体系の確立・・・(4)
- 安全で快適な住宅の整備・公園・緑地の保全と活用・・・(4)

重点的に取り組むべき施策の傾向(重みづけ)	ポイント
1 暮らしやすい社会を実現するためのまちづくり(住居・生活環境の向上)	●●●●●
2 豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり(教育・文化の振興)	●●●●●
3 安全・安心を基盤に発展できるまちづくり(防災・安全の確保)	●●●●●
4 暮らしやすさを高めるまちづくり(生活環境の向上)	●●●●●
5 持続可能なまちづくり(まちづくりの推進)	●●●●●
6 自然と共生するまちづくり(自然の保全)	●●●●●





## 【ステップ2】ブレインストーミング(思いついた地域の魅力や課題を書き込む)

## 【ステップ3】親和図作成(問題点と課題点の整理)

各班で、思いついた地域の魅力や課題をポストイット(付箋紙)に書き込み、親和図に共通点を施策単位でまとめ、コンセプトを考えました。

### 《1班:えがお班》 施策毎のポストイットの内容

- 福祉 「高齢者と子どもがいきいきと生活できる」・・・(8)  
「県立病院を活用する」「高齢者のちょっとした困り事」「高齢者が多い(増加)」「町内対抗運動会が無くなった」「大分川の堤防の活用(サイクリング・ウォーキングなど)」「高齢者と子どもたちとのふれあいの場」「高齢者、病院、運動」「ウォーキング、サイクリング、町内対抗運動会」
- 教育・文化 「文化・歴史を学ぶ教育活動」・・・(11)  
「大分の発祥地」「学校教育に郷土の歴史を」「史跡に案内板、説明板を設ける」「豊府公民館が必要」「南大分校区公民館がほしい」「中学生の不登校生がクラスに1人や3人存在する」「生きる力を育む小学校、中学校のあいさつ運動。これからも続けて欲しい。素晴らしい活動」「校区公民館がない、地域活性化の拠点に」「公民館、歴史(教育)、小・中の現場(あいさつ、ふれあい方)」他
- 防災 「災害に強いまち」・・・(2)  
「自然災害が怖い」「避難場所などの道路網整備」
- 産業 「商店街の組織づくり(活性化)」・・・(8)  
「農業を体験できる場所が少ない」「異業種の交流の活性化・中、小の企業が元気な地域が発展していく」「若者に良い仕事環境を」「100均がほしい」「病院多い」「本屋が少ない」「トキハインダストリーを大きく」
- 都市 「道路整備と交通機関(JRなど)の充実」・・・(14)  
「庄の原は通勤時に車がたくさん来る」「田中三差路の朝の混雑」「高齢者と子どもと一緒に遊べる公園づくり」「慢性的交通渋滞が長年解消しない」「通学路がせまい」「インターの使い勝手が良い」「バス路線の充実」「高齢者の電気バイクが安全に走れる道路」「左折する時曲がりづらい」「道路拡幅」「庄の原地区にバス運行再開してほしい」「交通量が多い」「10号線、210号線の渋滞緩和」「JR駅(南大分駅、古国府駅)活用 ※JRは渋滞なし」
- 環境 「公園の新設」・・・(5)  
「緑が少ない」「南大分スポーツパークの活用」「大きな公園が必要(多目的に使える)」「都市公園が必要」「ボールを使える公園が少ない」



### 《2班:黒田班》 施策毎のポストイットの内容

- 福祉 「安心して歩ける街お年寄り、子どもや高齢者が安心して生活できる街」・・・(6)  
「買物支援」「城南、坂道が多い」「特養施設が少ない」「子育て支援の場を増やしてほしい」「福祉ネットワークが必要である」「子どもが遊ぶ姿が見えない」
- 教育・文化 「みなみ大分が一体となる教育・文化」・・・(7)  
「南大分は文化施設に徹すべし」「数ある古墳、文化財を後世に残す方法を」「一体となる祭りが無い」「校区公民館がない、豊府地区」「南大分まつりを南大分全体の祭りとして」「地域行事の参加者が少ない」「豊府まつり 盛大に実施」
- 防災 「災害に強いまちづくり」・・・(2)  
「大雨で堤防が決壊しないか(大分川賀来付近)」「地震の時に逃げられるか?助けられるか?」
- 産業 「にぎわいのある商業施設が欲しい」・・・(5)  
「大型店がない」「中心地がない」「商店街が無い」「城南団地に商業施設を(買物難民対策)」「南大分と中心部ににぎわいの場がほしい(コンパルホール+〇〇)」
- 都市 「大至急欲しい!安全な広い道」・・・(24)  
「南大分駅、古国府駅の間にもう一つ駅が欲しい」「バスの便が少ない」「三ヶ田町 歩道が狭い」「道路が狭く行き止まり(袋小路)が多い」「畑中、田中、豊饒、明礮、羽屋道路が狭い」「道がせまいので自転車に乗るのが危ない」「通学路の整備、見守りが必要」「大石町など道幅がせまい」「畑中~明礮 道路が狭く、速度標識がない」「交通網が悪い」「古国府線と442号線、197号線 バスの連絡が悪い」「幹線道路の工事が多い」「大雨の時、水が出て道路がつかぬ」「都市公園計画(田中町)が実現されていない」「県病にバス一本で行けない」「ボール遊びのできる公園が少ない」「通学路がせまい、古国府地区道路拡幅の整備」「公共交通を市が経営するようにする」「公園の整備、大分市全体に言えることであるが大規模都市公園がない(別府公園のような)」「日陰になるような場所がほしい」「水路のフタが無い。初瀬井路」「南大分は行き止まり道が多いので改善すること」
- 環境 「大分川と緑豊か自然環境の維持」・・・(3)  
「駅前が狭い・南大分、古国府駅とも駅前広場といえるものがない」「河川敷 明礮橋~府内大橋の風景が好き」





# まちづくりのコンセプト(理念)成果発表

各班長がそれぞれの意見を取りまとめて導いたコンセプト(理念)の発表をおこないました。

## 《1班:えがお班》

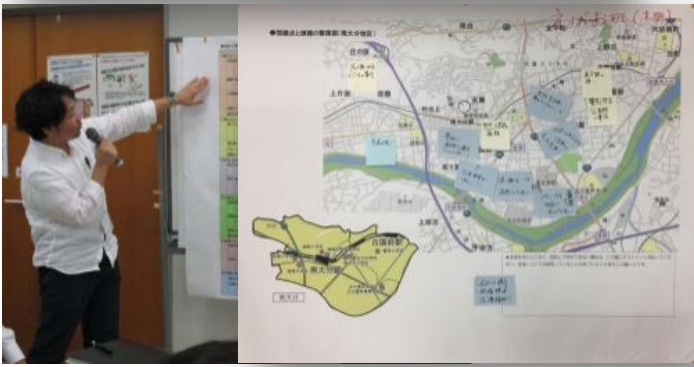
### コンセプト:健康と文化を育む笑顔あふれる みなみおおいた



6つのキーワードに分けて簡単に言いますと、福祉に関しては、「高齢者と子供がいきいきと生活できる」。教育に関しては、「文化歴史を学ぶ教育活動」、防災に関しましては、「防災に強いまち」。環境に関しては、「公園の新設」。都市基盤に関しては、「道路設備と交通機関の充実」。産業に関しては、「商店街の組織づくり」。これらをまとめて、最終的にコンセプトとしては、「健康と文化を育む笑顔あふれる みなみおおいた」としました。

「えがお班」が、えがおで始まってえがおで終わるということで、多くの活発な意見ができて、最後皆でまとめることができたことがすごくよかったと思います。

地図に関しても皆の意見が反映されています。公民館がない点、既存施設の活用について、例えば刑務所だったり、県病、スポーツパーク等の地域に沿った活用方法を考えていきたい。あと一番大きかったのが、交通網や道の拡幅といった整備がやっぱり必要だと再確認できたことです。



## 《2班:黒田班》

### コンセプト:後世に自慢できる住みたくなる街、みなみ大分



キーワードとして、福祉関係は、「安心してみんなが歩ける街、年寄りや子供、高齢者が安心して生活できる町」。それから教育文化では、「南大分が一体となる教育」。防災では、「災害に強い街づくり」。環境は、「大分川河川敷と緑豊かな自然環境を維持する」。都市基盤では、「大至急欲しい!安全な広い道」。産業では「にぎわいのある商業施設が欲しい」。としました。

地図では、圧倒的に、道路が狭い。どこが狭いじゃなくて南大分全体が狭い、地図に落とせないくらい多い。それから風景が大変好きであるとか、古国府駅と南大分駅の間に駅を作ってほしい。それから、公園の計画があるんですけど、全然実現されてなく住宅が多くできています。道に対しては非常に多くの意見が出ました。コンセプトは、「後世に自慢できる住みたくなる街、みなみ大分」です。南大分地域には、古墳だったり大友文化もあります。城南を除いては、人口減少が進む予測です。

人口減少を起こさないように「後世に自慢できる住みたくなるみなみ大分」をコンセプトにしました。

